

事業所名

ひよこ学級

支援プログラム

作成日

7年

1月

15日

事業所理念	幼児からの自立に向けての療育 ・生き生きと生活できる環境づくり ・家庭との連携		
支援方針	・子どもさんのセルフエスティームを育みます。具体的には3つの心(安心の心、自信の心、自由の心)を育てていきます。 ・保護者の皆さんと同じ立場で考えあい学びあうことを連携の基本と位置付け、親子通園によりその都度子育てに関する困り事や関わり方の助言、相談を行います。		
営業時間	9時00分から	15時00分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	基本的考え方	子どもさんの特性理解を優先します。子どもさんの強みを活かして苦手さを補う療育支援を行います。	
	コミュニケーション	コミュニケーション支援が療育支援の中心になります。表現性コミュニケーション、受容性コミュニケーションを育みます。子どもさん自身が置かれている状況が分かりやすい環境の中、言語にかかわらず使用しやすいコミュニケーション手段(カード等)の獲得を優先し、安心感を育み成功経験を増やします。	
	運動・感覚	年齢に合わせた遊びや運動を取り入れていきます。年中児、年長児にはグループ療育の中で、子どもさんの運動機能が向上する運動遊びを取り入れていきます。また感覚に過敏や鈍麻など特性のある子どもさんに対して環境を整えることで安心できる状況を作ります。	
	認知・行動	子どもさんの視覚的な情報処理の強みを活かして情報を正しくわかりやすく伝えます。またどのような事をどのくらい、どんな順番でするのか、終わったら何があるのかを視覚的構造化により知らせ、自分の置かれている状況を理解し、さらには意欲的に周囲に関係性を持つよう促します。	
	健康・生活	基本的な生活習慣の形成に必要な、分かりやすい環境作りについて紹介したり、子どもさんが安心して取り組めるよう手がかりを作成、提供したりすることで、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身に付けることができるようサポートします。	
	人間関係 社会性	状況が分かりやすい環境の中で自分がすべきことや期待されていることを理解し、物事を達成することで満足感や成就感を育みます。また困難な状況に陥ったり、失敗したりした時に大人等に助けを求めるスキルを身に付け、現状を打開出来たり気持ちを切り替えられたりすることができるよう支援します。集団での遊び場面においては遊びのルールをわかりやすく伝えるためモデルを示したり、視覚化したりして説明します。状況が分かることで友達と適切な関係が持てるよう支援し、社会性の発達を促します。	
家族との連携	勉強会や座談会を実施し、ご家族に特性やかかわり方に関する情報を提供します。また療育にて支援の実際を見て頂き体験していただくことで、家庭でも行えるようにサポートします。	移行支援	移行支援のベースとなるセルフエスティームを育みます。また子どもさんの状況に応じてソーシャルスキルトレーニングを実施します。併行利用している子どもさんは保育所等との連携を行います。
地域支援・地域連携	地域連携の基本ツールとなるサポートブックを作成しています。保健センターや子ども家庭センター等の関係機関と連携を図っていきます。	職員の質の向上	施設内研修や外部研修会への参加を行っています。また児童発達支援管理責任者によるOJTを実施しています。
主な行事等	全体懇談会(保護者勉強会)、グループ座談会		